

全国で実施された最新の試験問題に加え、
900問の精選問題を収録

准看護師 試験問題集

2017
年版

別冊—解答と解説

医学書院看護出版部—編

2017年の准看護師資格試験の受験者を対象とした問題集です。2016年2月に全国都道府県で実施された2015年度准看護師資格試験の全問題900問を地域別に収録しています。また、2012～2014年度試験問題から精選した900問を科目別に整理し、受験対策や重要事項とあわせて自己学習に役立てられるようにまとめました。各科目の専門家による解答と解説(別冊付録)付きです。



目次

- 1 受験の心得と試験基準
- 2 都道府県別准看護師試験係一覧
- 3 2015年度地域別出題分類一覧

〈科目別〉

出題傾向・受験対策

試験によく出る重要事項

精選過去問題

チェックアップ

人体の仕組みと働き・食生活と栄養・
薬物と看護・疾病の成り立ち・
感染と予防・看護と倫理・患者の心理・
保健医療福祉の仕組み・看護と法律・
基礎看護・成人看護・老年看護・
母子看護・精神看護

〈地域別〉2015年度試験問題

解答と解説(別冊)

●B5 頁584 2016年 定価：本体3,400円+税
[ISBN978-4-260-02522-5]



医学書院

基礎看護

看護概論

解答-p.10

精選過去問題

看護の概念・看護の対象

1 看護の対象

- ▶看護の対象について、適切でないものはどれか。
- (1) 病気の患者である。
 - (2) さまざまな問題をもった人間を全体としてとらえる。
 - (3) 共通する健康問題については、個人と同時に個人が所属する集団、あるいは社会全体に働きかける。
 - (4) あらゆる健康水準にある人である。

2 看護の目標

- ▶看護の目標について、誤っているものはどれか。
- (1) 基本的ニーズが充足されるように援助する。
 - (2) セルフケア能力を高め、自立できるよう援助する。
 - (3) 診療が、安全・安楽かつ効果的に行われるよう援助する。
 - (4) 健康な生活が送れるよう、疾病に焦点を当てて援助する。

3

▶人間の成長・発達の特徴について、適切なのはどれか。

- (1) 胎児の期区で急速だが、個人に最大の発達を示す。
- (2) 胎児の期区で急速だが、個人に最大の発達を示す。
- (3) 胎児の期区で急速だが、個人に最大の発達を示す。
- (4) 胎児の期区で急速だが、個人に最大の発達を示す。

900問の精選過去問題をテーマ別に掲載。さまざまな問われ方に対応できます

地域 4

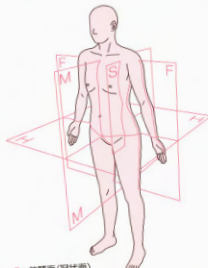
滋賀・京都・大阪
兵庫・和歌山・徳島

地域別 2015 年度 試験問題

前年度の地域別問題 (各150問) を解くことでペース配分の確認など本番の練習ができます

試験によく出る重要事項

●**身体の基準となる面**
身体を左右に等分する面を**正中面**、正中面に平行な面を**矢状面**という。解剖学的正位において地面に平行な面を**水平面**という。矢状面とも水平面とも直交する面を**冠状面**という(図1)。



F: 前部面(冠状面)
H: 水平面
S: 矢状面
M: 正中面(矢状面のうち、からだの中央を通るもの)
図1 身体の基準となる面

- 細胞・組織・器官**
細胞は生命の基本単位。細胞が集まって組織を、組織が集まって器官をつくる。
- 組織**
上皮組織、支持組織、筋組織、神経組織に分けられる。
- 上皮組織**
扁平上皮、立方上皮、円柱上皮、線毛上皮、移行上皮などに分けられる。
- 支持組織**
軟骨組織、骨組織があり、血液・リンパも支持組織に含める。
- 筋組織**
筋繊維(筋細胞)からなり、骨格筋、心筋、平滑筋に分けられる。前二者は**横紋筋**。平滑筋は消化管や血管壁をつくる。骨格筋だけが随意筋で、ほかは不随意筋。
- 神経組織**
神経細胞(ニューロン)と**神経膠細胞**(グリア細胞)からなる。神経細胞は、細胞体・樹状突起・軸索(有髄神経では髄鞘が巻きつく)からなる。軸索とその最端(軸突)などは**神経線維**をつくる。神経細胞と神経線維の間には**シナプス**があり、この部分で神経伝達物質によって興奮が伝わる(図2)。
- 脳・脊髄**
脳は周辺部に細胞体が、深部に神経線維が集まっており、それぞれ**灰白質**、**白質**とよばれる。脊髄では構造が逆になる(白質・灰白質)。

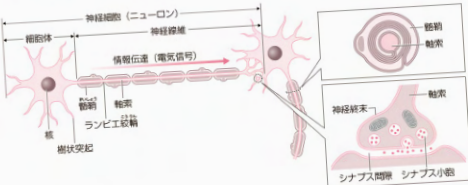


図2 ニューロンとシナプス

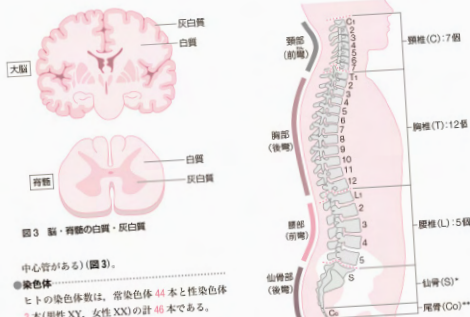


図3 脳・脊髄の白質・灰白質
中心管がある(図3)。
●**染色体**
ヒトの染色体数は、常染色体44本と性染色体2本(男性XY、女性XX)の計46本である。
●**遺伝子**
核酸は遺伝情報の担い手で、DNAとRNAがある。遺伝子は核酸の塩基配列による。
●**骨**
外側から骨髄・骨質・骨髄からなる。骨質は外層の密着質(緻密骨)と内層の海綿質(海綿骨)からなる。骨髄は造血(血球細胞の産生)機能を持つ。
●**骨格と脊柱**
人体は200個の骨で組み立てられており、頭蓋骨、脊椎(脊柱)、胸骨、上肢骨、下肢骨に大別される。脊柱は合計32~34個の椎骨からなる。椎骨は上から頸椎(7個)、胸椎(12個)、腰椎(5個)、仙椎(5個)、尾椎(3~5個)の順に重なる(図4)。
●**脳の収縮**
中脳からの指令は、神経節接合体(終板)で神経伝達物質(アセチルコリン)が放出されると、その興奮が筋に広がって筋の収縮をおこす。筋の収縮には、ATP(アデノシン三リン酸)の加水分解によるエネルギーが使われる。
●**神経系**
中枢神経系と末梢神経系に分けられる。

●**大脳の機能局在**
大脳皮質には運動にかかわる**運動野**、感覚にかかわる**一次感覚野**(体性感覚野、視覚野、聴覚野、嗅覚野)、思考・言語などの**高次機能**を担う**連合野**がある。
●**脳脊髄液(髄液)**
脳の保護、血液と脳の神経細胞間の物質代謝に関与する。髄液量は1日に約400mL分泌され、クモ膜腔から静脈中に吸収される。
●**自律神経系**
意志から独立した神経伝達路で、①**交感神経系**と②**副交感神経系**に分けられ、心臓・血管・消化管・呼吸器などに作用する。

「試験によく出る重要事項」で頻出ポイントを総点検できます

